学修目標と学修手段の対応表

経営学研究科 経営学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4						
		高度な専門知識	研究能力	課題の発見・設定・解決能力	正しい倫理観を持つ	他分野・他文化に属する人々と協働できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○			学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文学会発表修論発表	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得、学術論文	8単位	合計30単位修得
専門科目		○								20単位	
一般教養科目					○	○				2単位	
正課外	研究倫理教育				○						
	情報倫理教育				○						

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

経営学研究科 技術経営学専攻（ＭＯＴ） 修士課程（2026年度入学）

2026. 4. 1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5						
		高度な実践的専門知識	課題を発見し、把握することができる能力	課題に係る原因やメカニズムを分析し、解明することができる能力	課題の解決策を体系的に提案することができる能力	高い倫理観と国際的視野	実務の現場でイノベーションを興し、活躍することができる能力					
学生個々の課題に応じた最終成果物		○	○	○	○	○	○	－	グラデュエーションペーパー	グラデュエーションペーパー最終審査発表	審査合格	
基盤科目		○	○	○				科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）	成績評価、単位修得状況、アセスメントテスト、	レポート、単位の修得		合計40単位修得
専門科目		○		○	○	○					20単位	
社会連携科目		○			○		○					
演習科目				○	○	○	○				12単位	
正課外	研究倫理教育					○						
	情報倫理教育					○						

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

経営学研究科 経営学専攻 博士後期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：経営学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4						
		極めて高度な専門知識	自立して研究活動を行う能力	課題の発見・設定、独創的な解決能力	正しい倫理観を持つ	他専門分野・異文化に属する人々と協働できる能力					
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○			学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文学会発表博論発表	博士の学位論文、博論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得、学術論文	24単位	合計32単位修得
専門科目		○								6単位	
一般教養科目					○	○				2単位	
正課外	研究倫理教育				○						
	情報倫理教育				○						

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻等）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。